

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新豊田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		児発の人数を調整したり、部屋をなるべく広く使えるようなレイアウトに仕上がっています。	教室を広くしてほしい →部屋のレイアウトを工夫し、できる限り広い空間を確保できるようにしています。
	②	職員の配置数は適切である	○		利用人数に合わせた人員配置となっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者に合わせた部屋を提供しています。基本的に同じ部屋で支援をするようにしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日当番制で職員が掃除をしております。支援の内容に合わせた空間を提供しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		個別支援計画に沿った支援を行い、半年に1度これまで実現できたか振り返る機会を設けています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の回収を行い、職員へ結果を共有しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、評価表を HP にて情報を公開しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、実施しておりません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月車内で行われる研修に参加する他、職員が個々に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援後の保護者へのフィードバックを行い、毎回情報を更新しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		年度初めにアセスメントツールを使って利用者の情報を更新しています。	

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		半年に一度保護者と面談を行い、支援内容の確認をしています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に基づき、保護者の要望にも沿う支援となるようにしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必要があれば、チームで立案を行い、話し合いをしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎回子どもたちが楽しく支援を受けられるように内容を工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			現在、集団活動を行っておりません。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		共通担当の子がいる場合のみ実施しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		共通担当の子がいる場合にのみ実施しております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回、支援後に支援の記録をしています。記録は1週間以内に完了できるようにしています。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎回の保護者とのフィードバックで要望を確認しています。必要であれば、個別支援計画の変更を伝えています。	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			一部の子どものみ実施しています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当児がおりません。

連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		該当児がありません。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要であれば実施しています。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者から要望があれば、実施しています。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達センターの研修に可能な限り参加しております。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		要望があれば、実施していきます。現状、機会を設けておりません。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		保護者から要望があれば、実施いたします。現状は参加しておりません。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、支援後にフィードバックを行っています。子どもの様子を保護者と共有しています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		指導員の接し方を伝えることはあります。家族支援プログラムとしての取り組みはありません。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしております。後に不明点が出た場合もその場で説明をいたします。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		半年に一度、個別支援計画の更新のために面談を行い、次の計画案について話し合いをしております。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回の支援後のフィードバックで保護者の悩みを聞く時間も設けています。時間がかかる場合は相談支援の案内もしております。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会はありません。

					保護者からの要望があれば行います。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れに関しては、職員間ですぐに共有できる環境を整えています。内容をまとめて、上長に報告しています。		
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログにてお知らせを発信しています。また、LINEでも簡単にお知らせをしています。		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報個々に保管し、混同しないよう注意を払っています。管理についても徹底しています。		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		支援後のフィードバックで保護者の意向を確認するようにしています。		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現状、そのようなイベントを実施しておりません。イベントには参加できるようにしています。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員間で定期的に会議を開いております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			不定期に行っている状況です。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		発作が起こる可能性のある子には担当は関係なく、職員全員が対応を共有しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事提供はありません。あれば実施します。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集をファイリングし、職員で共有できるようにしています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に職員間で会議を開いています。また、社内の研修にも参加しています。	

④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時に身体拘束の説明をしております。個別支援計画に記載する場合は改めて、説明をしています。	
----	--	---	--	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」新豊田 校

保護者等数(児童数): 14 回収数: 14 割合: 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	4	0	0	・ちょっとだけせまい ・確保されている所とそうでないところがあるように感じる。	それぞれの部屋はできる限り広く使えるようにレイアウトを工夫しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	0	0	配慮されていると感じるが、周囲の情報を少なくした方が集中しやすい環境になるのではと思う。	子どもたちが集中しやすい環境を作れるように部屋のレイアウトを工夫していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	2	0	1	・新しい事も取り入れていただくようになってきた。 ・毎回同じ内容ではなく工夫されている。 ・毎回少しずつ内容が変わった支援を受けれています。	今後も、子どもたちが毎回楽しく活動できる工夫を指導員一同実施していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	0	7	4	特になし。なくて良い。	ご要望がありましたら、検討していきます。

							・今まではそういった機会はなかった。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	0	0	0	半年に一度、きちんと振り返りと今後の目標を一緒に考える機会を作ってくださいと、手厚いサポートに感謝しています。	今後も、個別支援計画の更新に際する面談を継続していきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	3	1	2	・今までにそのような機会はなかった。	支援後のフィードバックの際に、必要に応じて個々に対応していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	・いつも丁寧に対応してくださってありがとうございます。	支援後のフィードバックに時間を割けるよう、支援の時間を調整していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	1	・定期的にはないが、その都度教えてもらう等対応してくださっている。	引き続き、支援後のフィードバックの時間等で、回答する時間を設けるよう調整していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	8	2	・特になし。無くて良い。 ・今までにそのような機会はなかった。	ご要望がありましたら、検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	0	0	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1	1	1	以前は会報があった気がするが、今は分からない。	以前まで実施していた会報はブログ停止に伴う一時的なものとなっています。現在はブログとLINEにてきらりのお知らせをみなさんにお伝えしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	0	0	5		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	1	8	・今までそのような機会はなかった。	ご要望がありましたら、子どもたちも参加できる訓練を検討していきます。

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・たまにぐずる。 ・とても楽しいみたいで、「きらり行くよ」って言ってくれるようになったので、良かったです。 ・気分によろがあるの、楽しみにしていそうな日もあれば、逆の日もあり。 ・子どもが毎回楽しく通えているのが一番助かります。 	子どもたちが毎回楽しめる支援となるよう、毎回工夫していきます。また、支援後のフィードバックも欠かさず行い、満足できる支援ができるように努めていきます。
	②③	事業所の支援に満足しているか	13	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもあたたかくご支援いただきありがとうございます。 ・今のところ満足しています。ありがとうございます。 	引き続き、満足できるような支援をできるよう励んでいきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。